

短期留学報告書

北海道教育大学札幌校 基礎学習開発専攻
英語グループ 2年 萩原郁也

大学生活

今回、私が参加した短期留学のプログラムではアメリカの家庭にホームステイしながら3週間ワシントン大学に通うというものでした。

最初にクラス分けテストがあります。2種類のリスニングテストが行われ、その成績によって分けられます。一つはCDから流れてくる音声を聞き取るテスト。もう一つはワシントン大学について紹介しているDVDについてのテストでした。ほとんどの授業は、この分けられたクラスで受けることとなります。基本的な流れとしては、午前中は大学で授業を受け、午後と土曜日日曜日はフリーなのでシアトルの様々な場所を観光したり、お土産を買ったりするなどして楽しむことができます。

授業の内容は私のクラスはあるフレーズを使って実際に会話をしたり、宿題として出された単語やス

ラングが出てくる映画を観るといったものでした。私が個人的に面白いと思った宿題は、ご飯を食べに行ったりコーヒーショップに行き注文をしてきて、何を注文したのか、どのくらいチップを払ったのかなどを発表するというものでした。特にチップを払うという文化は日本にはないので、いざ払うとなると少しテンションが上がってしまいました。

また、最終プログラムとしてはクラスの中で4人程度のグループを作り、自分たちで決めたトピックについて外にいるアメリカ人にインタビューをし、結果をまとめてプレゼンするというものでした。トピックはアメリカやシアトルの文化についてということ以外は決められておらず、たくさんのグループがそれぞれのトピックについて発表するというのは面白いものでした。もちろんインタビュー結果をまとめたパワーポイントや話す内容はすべて英語です。グループによっては他の国の人もいるのでメンバー同士の話し合いや打ち合わせも英語になります。なのでもちろん日本でグループ内で打ち合わせをするときよりも大変なうえに時間もかかります。しかし、このような英語使用の経験は大きな効果があるはずだと私は思います。



大学にあるジョージワシントン像



最終プレゼンが終わると晴れて **Graduation** です。先生やクラスのみんなとご飯を食べながら最後のおしゃべりや、写真を撮るなどして楽しみましょう。

生活

私はシアトルに行く前、持ち物や服装のことでかなり悩んだのでそのことについて書きたいと思います。まず折り畳み傘は必需品だと思います。かなりの確率でしとしとの雨が降るからです。後半は慣れてきてあまり気にならなくなる人もいますが、せっかくの留学が風邪をひいてしまって台無しにならないように傘は持って行った方がいいでしょう。また、気温は「冬直前の秋」をイメージするといいと思います。朝は吐いた息が白くなることもありますし、風がとても冷たいです。傘やカバンを持っている手が冷たくなるので、手袋を持っていくといいと思います。また、家の中でくつろげるようにスリッパを持っていくのも Good です。

最後に、私は初日にシャワーの浴び方でとても困った経験があります。日本とは仕様が違うので温かいお湯の出し方を聞かずにシャワーを浴びた時は本当につらかったです。家についたら細かいことまですべて、しつこいくらい確認するのが良いでしょう。

行こうかどうか迷っている人はぜひ一歩踏み出してみてください。きっと後悔はしませんし、素敵な思い出や経験になるでしょう。



大学の桜の木